



公民館館報

いんぎらあと

公民館館報 第67号
西南部公民館

編集 広報部
TEL 240-8860 FAX 240-8960
(E-mail)
seinanbu-k@spacelan.ne.jp

じどうかんまつり同時開催で、 賑わい増した文化祭



CONTENTS

文化祭、遺跡めぐりツアー、市民ソフトボール大会
お楽しみバスツアー、新職員紹介、西南部校下防災訓練
子連お化け屋敷、いろは賞表彰式、特ダネ西南部(金沢マラソン)
市民ソフトバレーボール大会、市民バドミントン大会

十月十九日(土)・二十日(日)公民館文化祭が開催されました。二十日には模擬店や野外ステージが繰り広げられ、たくさんの方々が文化祭を楽しみました。今年は、九月に予定していた社会体育大会が雨で中止。賞品を文化祭パンフレットを使った抽選で校下の皆さんにお届けしました。また、今年は西南部児童館の児童館まつりも同時開催されました。

押野分団による加賀鳶梯子のぼりて幕を開けた二日目。晴天にも恵まれ、開始早々からたくさんの方々が早々に訪れました。用意していた食券が早くに売り切れてしまうなどご迷惑をおかけしましたが、大盛況で実施することができました。作品で参加いただいた皆さん、お世話をいただいた皆さん、ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



文化祭

さあ行こう! 輝く時代へ!!





文化

さあ行

手をとって



いつもは「縁の下の力持ち」として学校や地域の活動に参加させていただいている「父会」ですが、「今年の文化祭は、父親の会として何かおもしろいことを、しよう!」と、出演者として参加しました。出演が決まってから、「何をしようか」とメンバー皆で悩みました。これといった得技を持っていない者もおらず、とにかく「笑わせること」とつまり「お笑い」「踊り」を全部ひっくるめて何かできないか、考えに考えた結果「寸劇」をすることにしました。「お笑い」は何とかなるとしても、問題は「踊り」です。素人お父さんができる「踊り」として出た案が「よさこい」でした。「下手でも、一所懸命に声を出して頑張っている姿を見せよう!」と、仕事帰りに集まっては、日々練習に励みました。そして迎えた本番。少し緊張もありましたが、西南部の空に、お揃いのTシャツを着た父親たちの「よさこい」の掛け声が鳴り響きました。そんな父親の会は、今年で十五周年を迎えました。今後も、子ども達の笑顔のため、西南部地区の頼れる父親達でありたいと思っています。

西南部小学校EG@父親の会
会長 水田朗

寸劇「シンデレラ・ボーイズ」



遺跡めぐりツアー



名勝「若狭蘇洞門」と年縞博物館

遺跡めぐりツアーに参加して

島 弘史(新八日市出町)

八月二十四日(土)遺跡めぐりツアーが行われました。今回の目的地は福井県小浜と若狭町。小浜では、CNNが選んだ「日本でも美しい場所三十一選」に選ばれた国の名勝「若狭蘇洞門」を船で訪れ、晴天のもと気持ちの良いクルーズを楽しみました。

「鳥浜貝塚」が有名な若狭町、今回は、二〇一八年九月にオープンした福井県年縞博物館を訪れました。年縞とは、湖沼などに堆積した層が描く縞模様のことです。水月湖の湖底に静かに積もった七万年分の沈殿物が描く綺麗な縞模様を見るができます。このようにきれいな縞模様が発見されることは非常に珍しく、地質年代の新しい世界基準として注目されているそうです。

行き帰りのバスの中も工夫あふれるイベントで寝る暇もないほど充実した旅を楽しむことができました。



曇り空の八月下旬にしては、過ごしやすい遺跡めぐりツアー当日の朝を迎えました。バスの中は知り合いも多く、六十四歳の私でも若者気分です。福井県若狭方面に向かいました。公民館など地域主催のバスツアーの良い点は、集合場所がとても近く、参加者は皆さん顔見知りです。今年も元気でおいしくお会いできることを喜びと健康の有り難さを実感できると思います。

まず、遊覧船に乗り小浜湾から若狭湾にかけて、朝の爽やかな風を浴びながら豪壮な景観を楽しみました。次に、仏像や祭りなどの文化とそれらを育んだ若狭の歴史を学びました。日本文化の基礎とされる縄文文化にも触れました。さらに、年縞(縞模様になった泥の地層)という聞き慣れない言葉を知り、当時の環境を知り得るまでに、時代のタイムマシンに匹敵するほどのスケールの大きさに感激しました。帰路は、寝る暇もなく全員がゲームに熱中し、気がつけば住み慣れた我が町に、まるでタイムマシンに乗ったかのように帰って来ていました。

まさに、今回のツアーは、百聞は一見にしかずで、見る価値のあるところが内容の濃いものでした。ありがとうございました。



市民ソフトボール大会

九月一日(日)市営専光寺ソフトボール場で、市民ソフトボール大会が行われました。

西南部からは各町会の精鋭達による選抜チームで参加しました。金沢市全域から三十三チームが参加し、三つの球場を使って夕方まで熱戦が繰り広げられました。

西南部は一回戦に押野と対戦し、互いに点を取り合う展開となりましたが、九対八で押野を下しました。二回戦は一回戦で瓢箪・此花を破って勝ち上がったきた田上と対戦し、一回戦と同様に点を取り合う展開となりましたが、今回は八対九で惜しくも敗れてしまいました。

九月とはいえ、真夏のような厳しい残暑の中、選手・役員の方皆さんご苦労様でした。



お楽しみバスツアー



紅葉の野尻湖と上越水族博物館の旅

十一月十六日(土) お楽しみバスツアーが行われました。今回は、長野県の野尻湖と、そこで発見されたナウマンゾウの博物館、二〇一八年にリニューアルした上越市立水族博物館「うみがたり」をめぐるコースでした。ナウマンゾウ博物館では、日本にも四〇万年前には象がいたことに驚き、実際に化石が発見された野尻湖を遊覧船で巡りました。上越市立水族博物館では、背景に広がる海と一体化したかのように見えるプールでイルカショーを見たと、珍しいシロイルカのランチタイムも見ることができました。行き帰りのバスの中では、クイズやゲームなど楽しいプログラムが用意され、晩秋の旅を十分に楽しむことができました。

楽しい楽しい晩秋の旅

野村則子(新八日市出)

四十七人を乗せたバスは一路野尻湖へ。景品が出るからと欲望な理由で取り組んだ車中での〇×クイズが、ナウマンゾウ博物館の見事な予習になっていたという、文化教養部の術中にまんまとはまりながらも到着。大きな湖!水の透明度も高く、ものすごく冷たそう。

遊覧船からは360度の見事な紅葉。そびえる妙高山、黒姫山は威容で神々しく心洗われました。昼食後は上越水族博物館「うみがたり」へ。イルカショーが3階!?! どういうことだ。と怪しみながら狭い長いエスカレーターを昇る。おっシロイルカだ!!生で初めて見た!めっちゃラブリー♡奥にイルカショーのプール。せつま!!大丈夫か?! ジャンプ!クルクル大回転!すごいぞメイビス! ショーのラストで全くお兄さんの言う事を聞かなかったけれど、そ



れもご愛嬌。日本一の飼育数のマゼランペンギンも圧巻。帰りのバスの中でのお名前ビンゴも大盛り上がり。楽しい楽しい一日でした。感謝。

今年度行事予定

- 1/11(土) 三館合同成人式〔文化ホール〕
- 2/ 8(土) 消防訓練
- 2/ 8(土) 町会対抗ボウリング大会〔御経塚グランドボウル〕
- 2/11(祝) 校下慰労会〔ヴィラグランディス〕
- 2/16(日) 公民館フェア〔文化ホール〕
- 3/ 6(金) 味噌づくり
- 3/ 8(日) 育友会資源回収
- 3/14(土) 中学校卒業式
- 3/17(火) 小学校卒業式



新職員紹介



公民館事務局に、新しい職員が入りました。半日勤務の山本康子さん(新八日市出)です。

まだまだ分からないことも多いですが、早く覚えて頑張りたいと思います。よろしくお願致します。

西南部校下防災訓練

現実に近い想定でリアルな防災訓練

十一月三日(日) 西南部小学校体育館で西南部町会連合会主催の「校下防災訓練」が行われました。今回の訓練では、より実際に即した想定で避難所開設を行ってみて、問題点を洗い出すことで実際の避難時に困ることがないようにすることを目的にしました。さらに、簡易トイレ、間仕切りなどの作成や機器の組み立てなどが行われ、いざという時に役立つスキルを体験しました。



実践訓練で実際に動ける体制を



防災委員長 武藤政行(新保本) 十一月三日(日)に防災訓練を実施しました。今年には校下町会の会員、約一九二名に参加頂きました。

近年、主に台風接近に伴う大雨、洪水被害が増加しており、今年には台風19号が関東甲信地方などで甚大な被害をもたらしました。また、昨年は西南部小学校で実際に避難所が開設されまし

た。その際明らかになった問題を踏まえ、今回の訓練は、伏見川と十人川が氾濫して避難勧告が発令されたことを想定した「避難所開設デモ」「備品確認」を実際にやってみて「うまくいかないこと」の洗い出しをテーマとしました。

まず、例年実施していた町会毎の一次避難場所への集合と集団避難は現実性に乏しいと判断して廃止、参加者は直接西南部小学校に避難頂き、予め準備した避難者カードを記載して貰いました。また、金沢市危機管理課の職員さんご指導のもと、ダンボール製間仕切り、簡易トイレ、100型パーナー、発電機の組み立て動作体験、体育館屋根裏の毛布格納場所を目視確認しました。

実際にやってみると、避難者は児童玄関の裏側からも来る、引越したばかりで自分の町会がわからない、毛布格納場所は真っ暗で懐中電灯が無いと夜間は見えない、ブルーシートの上に直接座ると床が冷たい、など沢山の気付きを得ることが出来ました。また、危機管理課の職員さんからは避難所開設時の重要ポイントとして、間仕切りは金沢市が持つてくるため避難後は毛布だけになること、トイレが断水したら即時封鎖しないと居住環境が劣悪になり、水分摂取を控えて健康悪化まで繋がること、簡易トイレエリア用ワンタッチ型テントは来年度西南部小学校に導入予定であることなど、貴重なお話を

しをご紹介頂きました。

とにかく避難所の運営は地域で行わなければなりません。地域とは我々みんなです。今後は今回得た気付き+αのマニュアル化や、各家庭で常備・避難時に持参する物品の明確化、そして実践訓練を繰り返して、多くの方が実際に動ける体制を作っていきたいと思います。



校下防災訓練に参加して



令和最初の訓練は、冷え込みの厳しい朝になりましたが晴天に恵まれました。今回は町会毎に避難所の小学校に集合するのではなく、避難勧告と同時に個人単位で小学校に集合するというものでした。

参加者は受付で避難者カードを記入し、町会毎に分けてある受付箱に入れ、二階の体育館の町会名が記されたブルーシート上に集合する流れでした。冷え込んだせいかブルーシートに腰を下ろしていると、床から冷たさが伝わってきて実際に避難する時に備え、敷物を準備しておく必要があると感じました。体育館では町会単位でダンボール間仕切りと簡易トイレの組立てを行ったところ、工作感覚で各所ワイワイ感がありました。次に用具室の二階(屋根裏)に保管されている毛布と同じものを広げたり羽織ったりして感触を確認しましたが、想像していたより温かくしつかりした毛布でした。

その後、体育館一階ピロティで、最初に100型パーナー(百人分の煮炊き可・灯油式)と稼働に必要なカセットボンベ方式の発電機の保管場所の説明があり、一旦外に出て倉庫の場所、中の棚の位置を確認しました。

パーナーと発電機の取り扱い指導では実際に交替でセットし、発電機を稼働させて、パーナーに着火する工程を



体験しました。簡単なことですが体験しておかないとスムーズにできません。改めて訓練の必要性を感じた次第です。体育館一階と二階で十四町会を二グループに分け同時に進行しましたが簡易トイレの数が足りてなかった事、組み立てが簡単過ぎた(予定していた簡易トイレではなかった)为一階グループとの入替えまで間延びしてしまいました。それでも金沢市危機管理課の担当者に熱心に質問されている姿を見ると、正規のトイレだと時間が足りていたかどうか不安を感じました。

ピロティではガスボンベ、灯油の備蓄量や煮炊き用の水の備蓄、それらの保管場所や倉庫の鍵の場所、避難所(小学校)の開錠等多くの質問があり、皆さんの意識の高さを感じました。

避難所の開設では市の担当者が来られますし、地域の防災士の方々もおられますが、その方々も被災者と成りえます。今回は百九十二名の参加がありましたが一人も多く防災訓練に参加して避難所の運営について知って貰いたいと思いました。

お化け屋敷

三年ぶりの
お化け屋敷、大盛況!



七月二十八日(日) 西南部公民館二階ホールを会場に、西南部子ども会連合会主催の「お化け屋敷」が行われました。「お化け屋敷」は三年ぶりの開催で、参加した中学生の少年委員達にとっては初めての経験となり、わからないことや不安ことも多くあったようです。

準備は、毎週日曜日の午後に行い、前日の設営も含め、猛暑の中の作業となりました。当日は大人も含めて二百八十一人が参加する大盛況で、次々に訪れる参加者を怖がらせるために、舞台裏は大忙し。入り口で止まってしまつて中に入れない子や、早々にUターンして入り口から出てきてしまう子、大急ぎで走つて出てくる子など、なかなかクオリティの高い背筋の凍るような「お化け屋敷」は熱気に包まれて、参加した少年委員達も大きな達成感を味わいました。



いろは賞表彰式



十二月四日(水)「いろは賞表彰式」が行われました。「いろは賞」は地域活動に貢献した子どもに贈られるもので、今年で二十七回を迎えます。今年受賞したのは、出越小春さん(西金沢四)、長田桃花さん(八日市出)、田中瑠音さん(八日市出東)、沼田幸暢美さん(八日市出)の四人で、いづれも西南部中学校二年生。子ども会連合会の役員として地域行事に積極的に関わり中心的な役割を果たしただけでなく、金沢市の子ども会連合会でも活躍したことが評価され受賞しました。

公民館カラオケ教室講師の谷明子さんが「心からの感謝」と題して記念講演を行いました。谷明子さんは龍谷高校で事務員としての経験から、子ども達との交流のエピソードや、自身が歌手としてデビューした経緯などから、与えられた仕事や境遇に感謝の気持ちで一生涯懸命頑張ることの大切さを話されました。

地域活動の第一歩を讀えて

いろは賞を受賞して

西南部中二年 出越小春(西金沢四)

このたびは、いろは賞をありがとうございます。これまで、私たちが行ってきた活動がこのような形で評価されたことを大変光栄に思います。

私が少年委員会に入ろうと思ったのは、小学生のときに参加した「ジュニアチャレンジ大会」というイベントでお手伝いをされていた、少年委員の友達を見たときです。当時の少年委員さんの方は私達みんなに優しく接して下さいました。それを見て、「私も、人の役に立ちたい。もっとみんなを楽しませたい。」と思うようになって、少年委員になることを決意しました。

私達、少年委員はこれまで、春には一年生をむかえる「春のつどい」夏には「納涼おぼけやしき」のお手伝いを行ってきました。

特におぼけやしきでは、私たちがテーマを決めてから飾りつけ、当日のおぼけ役まで行い、たくさんの人に楽しんでもらうことができました。そのイベントも決して一人ではできなかつたことです。ですから、そんな仲間が大人の方々に感謝するというのを忘れずに活動していきたいと思っています。

これからも、仲間達と協力して、いろんな人を笑顔にできる活動を行っていきたいと思います。

今回はいろは賞の受賞、本当にありがとうございました。



特ダネ西南部

金沢マラソン

十月二十七日(日)五回目を迎える金沢マラソンが開催されました。スタートの時点では曇りでしたが途中から雨が降り出し、時折激しさを増し、ランナーにとっても応援するものにとっても厳しい天気となりました。それでも、男女とも大会新記録が出ました。今年の出場者は一万四千二百六十一人。完走者は一万三千七百五十六人(完走率九十六・五%)でした。出場希望者が多く、応募しても抽選に漏れてしまった人も多くいた中、西南部からも何名かのランナーが参加しました。また、西南部はフィニッシュ地点の西部緑地公園陸上競技場そばの最終応援スポットで応援を行いました。チカモリ太鼓の子ども達の力強い太鼓の音色、見遊来座の元気な踊りがランナーの背中を後押しし、婦人会の皆さんの暖かい応援がランナーの心を温めゴールに送り出していました。

金沢マラソンの感想



高堂雅史(西金沢新中)

私にとって今回の金沢マラソンは、三年ぶり三度目の参加になります。無事に完走できましたが、目標としていた時間を達成することができず、自分自身の不甲斐なさを感じている次第です。

自分自身のことはさておき、スタートからゴールまで本場に沿道の応援が途切れることのない、すごい大会だと改めて感じました。エイドも、金沢の特色を活かしたメニューで良いと思います。私は、いろいろなマラソン大会で全てを食するというスタイルで走っており、しかし、今回は、自分の足が限界を迎え、気持ちで走っていたことと、ちょうどどしゃぶりの雨が重なり、止まると気持ちが悪くなると判断し、残念ながら金澤カレーはスルーしてしまいました。結局その後、足も限界を迎え、気持ちも切れてしまいました。次はカレーを食べる体づくりをして参加したいと思



ます。

最後になりますが、金沢マラソンが今後も継続して開催されることを願っております。

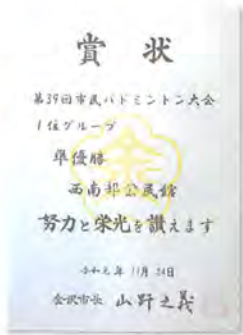
来年も金沢マラソンに参加できると信じて今回の走りの課題は何だったのかを、分析しながら日々トレーニングを頑張りたいと思います。

今大会を運営して下さいました関係者や、多くのボランティアの皆さん、そして応援してくれた皆さんに感謝致します。本当にありがとうございました。



市民バドミントン

十一月二十四日(日)金沢市総合体育館において、市民バドミントン大会が行われました。市内40チームで競い、見事、準優勝をおめでとございます。



市民ソフトバレーボール

十二月一日(日)金沢市総合体育館において、市民ソフトバレーボール大会が行われました。西南部公民館チームとして、日頃から西南部小学校で練習をしているソフトバレーボールチームの中から40才以上の部、50才以上の部、フリーの部の3チームが参加しました。



【写真は50才以上の部】第二位!!
長田豊さん、福田桂さん、笹田益弘さん、柏雅登さん、坂本貞子さん、三浦道子さん、喜多路代さん

編集後記

今年も大きな災害が続きました。幸い私たちの石川県は大きな災害に見舞われませんでした。報道を見る度に申し訳ない気持ちになりました。来年は二〇二〇年。オリンピックの年です。平和な年でありませうように。